

神楽通信

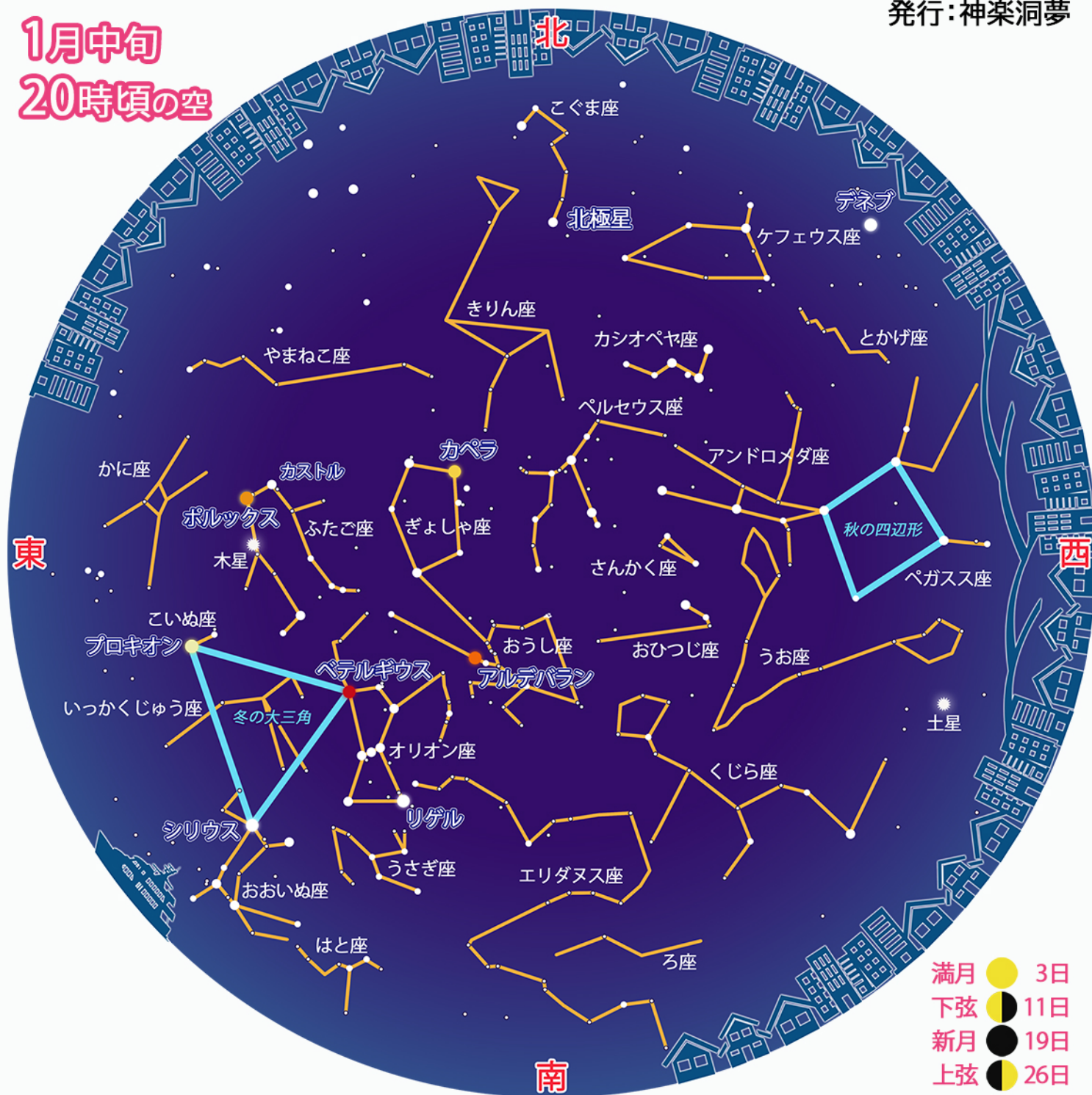
No.119

2026年

1月号

発行:神楽洞夢

1月中旬
20時頃の空



新年あけましておめでとうございます。1月に入り寒さが増してきましたが、夜空の目印となる「冬の大三角」は、まだ東の空から昇ってきたところです。その大きな三角の真ん中には「いっかくじゅう座」という額に一本の角が生えた馬の星座があります。幻の動物とも言われている一角獣ですので、残念ながら夜空でも探すには難しい星座です。今年の干支は「午」、夜空では少し変わった馬の姿を冬の大三角のあたりに想像してみてください。

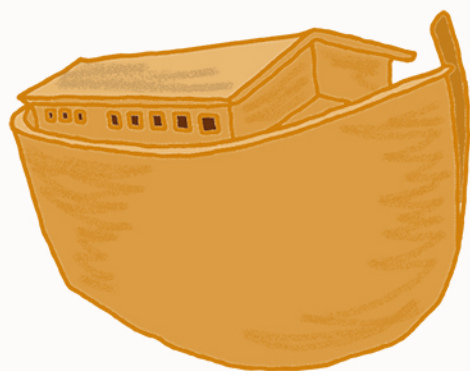
うさぎ座とはと座

夜空で砂時計のような形をしたオリオン座の星並びを見つけると、その下には可愛らしい「うさぎ座」や「はと座」の姿があります。この星座たちはオリオン座を描く星々に比べると明るい星が少なく、街中で見つけるには難しい3等星や4等星の星で結ぶことができます。

そんな控えめな星座たちの中にも、昔から伝わる神話があります。例えば、はと座の鳩は「ノアの箱舟」という神話に登場する鳩の姿だと言われています。



ノアの箱舟



神様は世の中に悪人が増えていくのを恐れて、人間をすべて滅ぼし、もう一度世の中を作り直そうと思いました。そこで神様は「ノア」という男に「箱舟を作り、ノアの子どもと妻、子どもの夫や妻、またその子どもたちと一緒に乗りなさい」と命じました。他にも「動物をオスとメス1対ずつ乗せて、食料もたくさん積んでおくこと」も命じました。神様がそう命じたのは、ノアは神様にとって唯一信頼をおける人物で、正義のある人だったからです。

そしてノアは箱舟を作り、命じられたとおりに自分の家族と動物と食べ物を箱舟に乗せました。するとたちまち雨が降りはじめ、40日間ずっと降り続けました。地上はすべて水で覆われ、地球全体が海のようにになりました。



ノアの箱舟に乗っていた人間や動物以外はすべて滅びてしまいました。そして雨がやんで数日たった頃、外の様子を知りたくなったノアは、箱舟に乗っていた鳩を逃がしました。すると数日後、鳩がオリーブの枝をくわえて戻ってきたのです。そこから水が引いていることがわかり、ようやくノアたちは地上に降り立つことができました。そしてもう一度この世界を作り始めました。夜空にはこのお話に出てくるオリーブの枝をくわえた鳩の姿が描かれています。



Okasan Digital Dome Theater
神楽洞夢
KAGURA DOME

〒514-0032 三重県津市中央5-20 岡三証券グループ津ビル4階
<http://kagura-dome.jp> TEL. 059-221-3121 FAX. 059-226-1565